

# 名山校区 コミュニティプラン

第2期（2024年度～2028年度）

歴史を継ぎ、街なかに残る『つながり』を守り育てる名山

名山校区コミュニティ協議会

## コミュニティプラン策定にあたって

名山校区コミュニティ協議会  
会 長 平 山 哲

一昨年、米盛孝一会長から名山校区コミュニティ協議会の会長を引き継ぎました平山哲です。

私たちの名山校区は、地域の絆を深め、「共助」の力を発揮する地域づくりのために、平成29年3月に「名山校区コミュニティ協議会」を発足させ、第1期名山校区コミュニティプランに基づき、まちづくりを進めてまいりました。これを継承・発展させ、名山校区で暮らす人々が“暮らしやすさ”を実感できる地域を築いていくために、2024年度からの5か年計画である「第2期名山校区コミュニティプラン」を策定いたしました。



スローガンは、第1期プランの「歴史を継ぎ、街なかに残る『つながり』を守り育てる名山」を今回も継承し、自ら進んで参加する「住民参加」、共に支え助け合う「共助と連携」、新しく創る「多様性と創造」を目指し、地域の皆様方と共に子どもたちやお年寄りの方々が安心して暮らしていける、名山校区づくりに邁進してまいります。

今後とも、関係機関のご指導と、コミュニティ構成団体をはじめとする地域の皆様方のご理解・ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

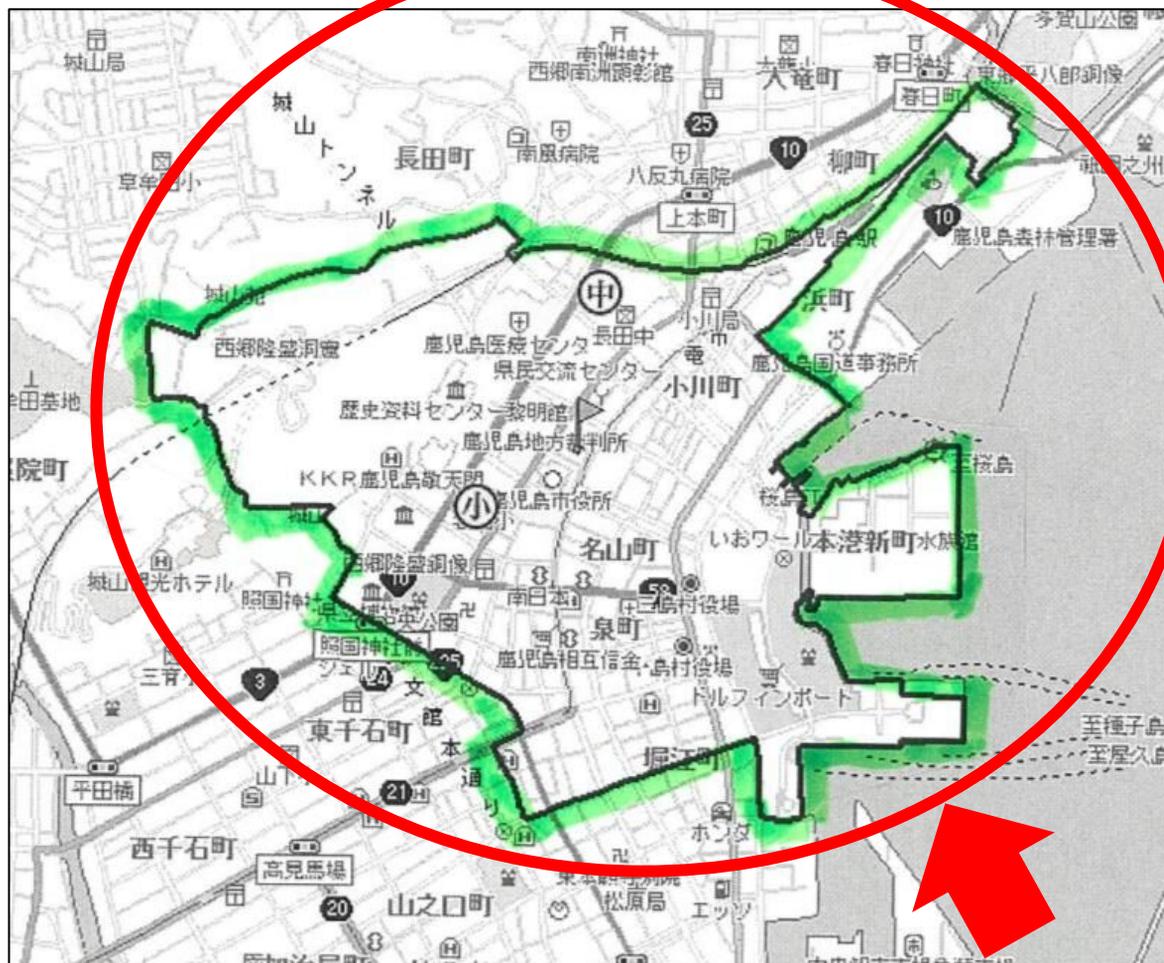


## 目 次

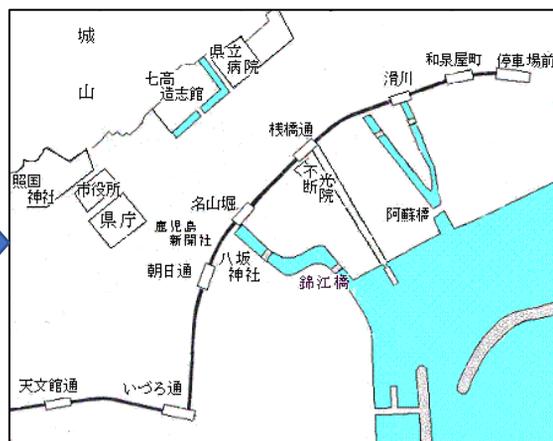
|                         |                |
|-------------------------|----------------|
| <b>1. 名山地区の概要</b>       | <b>.....1</b>  |
| (1) 名山校区の位置             | .....1         |
| (2) 名山校区の歴史の概要          | .....2         |
| (3) 主な施設・史跡等            | .....3         |
| (4) 名山校区の人口             | .....4         |
| <b>2. まちづくりの目標と運営方針</b> | <b>.....5</b>  |
| <b>3. 推進体制</b>          | <b>.....7</b>  |
| (1) 基本的な考え方             | .....7         |
| (2) 事業推進体制              | .....7         |
| (3) コミュニティプラン策定委員会委員    | .....9         |
| (4) 会議の経過概要             | .....10        |
| <b>4. 第Ⅱ期プランの活動内容</b>   | <b>.....11</b> |
| (1) まちづくり推進部会           | .....11        |
| (2) スポーツ文化部会            | .....13        |
| (3) 青少年育成部会             | .....15        |
| <b>資料編 アンケート調査結果</b>    | <b>.....17</b> |
| (1) 名山校区全体について          | .....17        |
| (2) まちづくり推進に関して         | .....17        |
| (3) 文化に関して              | .....18        |
| (4) 保健体育に関して            | .....19        |
| (5) 青少年育成に関して           | .....19        |
| (6) 福祉安全に関して            | .....20        |

# 1. 名山校区の概要

## (1) 名山校区の位置



【明治20年（1887年）頃の名山堀】



【大正13年（1923年）頃の名山堀】

### 【COLUMN】 名山堀の名前の由来は？

名山堀は、市役所前的大通りにあった掘割のことである。安永年間（1772-1781）にはすでに築造されており、掘割に映える桜島の景色が秀麗であったため名山堀と名づけられたという。  
「鹿児島市内の史跡めぐり」

# 1. 名山校区の概要

## (2) 名山校区の歴史の概要

| 町名  | 主な歴史や特徴等   |
|-----|--|
| 名山町 | <ul style="list-style-type: none"><li>□ 1965年（昭和40年）町名整理により、六日町、築町の全域及び易居町、山下町の一部が編入</li><li>□ 町名は江戸期にあった「名山堀」に由来</li><li>□ みなと大通り公園は名山堀の跡</li></ul>   |
| 山下町 | <ul style="list-style-type: none"><li>□ 江戸期は鹿児島城下土屋敷群。藩役所の他に、宮之城島津家、垂水島津家、加治木島津家、入来院氏、喜入肝付氏、吉利小松氏の屋敷が所在</li><li>□ 明治期に県庁所在地（※県行政の中心）</li><li>□ 1889年（明治22年）の市制施行で鹿児島城下47及び近在3村の区域より鹿児島市が成立し、江戸期からの山下町は鹿児島市の町名「山下町」に</li><li>□ 1892年（明治25年）鹿児島市役所が山之口馬場町から移転（現；鹿児島市立美術館）</li><li>□ 1965年（昭和40年）に町名整理により山下町の全域で居住表示</li><li>□ 2003年（平成15年）鹿児島県庁舎が鹿児島新町に移転（跡地に県民交流センター）</li></ul> |
| 城山町 | <ul style="list-style-type: none"><li>□ 1965年（昭和40年）に山下町の一部より分割成立</li></ul>  |
| 金生町 | <ul style="list-style-type: none"><li>□ 1751年（宝暦元年）山形屋の前身となる呉服商が開業。明治中期に呉服商からデパートメントストアとなり、神戸以西では初のデパート</li><li>□ 1879年（明治12年）鹿児島銀行の前身となる第百四十七国立銀行の設置（※経済の中心）</li><li>□ 1889年（明治22年）市制施行により鹿児島市の町名「金生町」に</li><li>□ 1965年（昭和40年）に町名整理により金生町の全域で居住表示</li></ul>   |
| 大黒町 | <ul style="list-style-type: none"><li>□ 南林寺の門前であったため、多くの市の賑わい</li><li>□ 1889年（明治22年）市制施行により江戸期からの大黒町は鹿児島市の町名「大黒町」に</li><li>□ 1963年（昭和38年）に山下町の一部より分割成立</li></ul>   |
| 中町  | <ul style="list-style-type: none"><li>□ 1889年（明治22年）市制施行により鹿児島市の町名「中町」に</li><li>□ 1965年（昭和40年）に町名整理により金生町の全域で居住表示</li><li>□ 大正期には山形屋商店などが店舗を拡大。（※経済圏の中心に）</li></ul>  |
| 易居町 | <ul style="list-style-type: none"><li>□ 1872年（明治5年）易居町区域の埋め立て</li><li>□ 1889年（明治22年）市制施行により鹿児島市の町名「易居町」に</li><li>□ 1965年（昭和40年）に易居町の一部が名山町に分割。町名整理で金生町の全域で居住表示</li><li>□ 2001年まで南日本新聞の本社が所在</li></ul>  |
| 泉町  | <ul style="list-style-type: none"><li>□ 1889年（明治22年）市制施行により鹿児島市の町名「泉町」に</li><li>□ 1965年（昭和40年）に汐見町の全域及び生産町の一部を編入</li><li>□ 町内には十島村役場本庁舎が所在</li><li>□ 泉公園に五代友厚像</li></ul>   |
| 住吉町 | <ul style="list-style-type: none"><li>□ 1889年（明治22年）市制施行により江戸期の住吉町は、鹿児島市の町名「易居町」に</li><li>□ 1963年（昭和38年）に町名整理により金生町の全域で居住表示</li><li>□ 1935年（昭和10年）九州初の青果・水産併設の市場。1968年（昭和43年）に水産部門が魚類市場として独立し城南町に移転。1976年（昭和51年）青果部門が青果市場として東開町に移転。鹿児島湾駅は1984年（昭和59年）に貨物線が廃止</li></ul>   |
| 堀江町 | <ul style="list-style-type: none"><li>□ 元禄年間海浜に造成された新築地の西部下町に成立した町</li><li>□ 1889年（明治22年）市制施行により江戸期の堀江町は、鹿児島市の町名「堀江町」に</li><li>□ 1963年（昭和38年）に町名整理により洲崎町一部を編入し、全域で居住表示</li></ul>   |
| 小川町 | <ul style="list-style-type: none"><li>□ 1889年（明治22年）市制施行により江戸期の堀江町は、鹿児島市の町名「堀江町」に</li><li>□ 1965年（昭和40年）に汐見町の全域及び生産町の一部を編入、全域で居住表示</li><li>□ 弘化、嘉永年間年間の埋立地</li></ul>   |

# 1. 名山校区の概要

## (3) 主な施設・史跡等

名山校区は鹿児島市のほぼ中心に位置しており、名山小学校の周辺には、鹿児島市役所や鹿児島市教育総合センター、裁判所、鹿児島地方法務合同庁舎などの官公庁が多い。

西には自然豊かな城山があり、その近くには国道10号線が通っている。10号線沿いには鹿児島県歴史資料センター黎明館や県立図書館、鹿児島市立美術館、県立博物館などの文化施設がある。東には雄大な桜島を望み、水族館や北埠頭がある。南には鹿児島市一番の繁華街天文館に隣接したデパートや数多くの商店、銀行などがある。北には薩摩義士碑や私学校跡等の歴史的遺跡がある。名山校区は歴史と文化の薫るまちであるといえる。



**主な史跡等**  
鶴丸城跡  
西郷隆盛銅像  
私学校跡  
西郷隆盛洞窟  
西郷隆盛終焉の地  
西南戦争官軍本営跡  
薩摩義士碑  
篤姫像  
五代友厚銅像  
小松帯刀銅像  
加納久宜銅像  
丹下梅子銅像  
造士館・演武館  
開成所跡  
名山堀跡  
県里程元標  
月照上人遺跡の碑  
俊寛の碑  
新波止砲台跡

**文教施設**  
名山小学校  
長田中学校

**主な公共機関**  
鹿児島市役所  
鹿児島地方裁判所  
鹿児島地方検察庁  
鹿児島合同庁舎  
鹿児島港湾合同庁舎  
湾岸交番  
鹿児島医療センター  
県民交流センター  
三島村役場  
十島村役場

**文化施設・社会教育施設**  
県立博物館・孝古資料館  
歴史資料センター黎明館  
市立美術館  
県立図書館  
近代文学館・メルヘン館  
宝山ホール  
水族館  
中央公民館

**町内会**  
易居町町内会  
名山東町内会  
名山西町内会  
城山町敬天区町内会  
城山町二之丸町内会  
堀江町町内会  
大黒町町内会  
呉服町町内会  
中町町内会  
金生町町内会  
住吉町町内会  
泉町町内会  
小川・浜町町内会  
アーバンポート21自治会

**交通関係**  
鹿児島本港  
桜島フェリーターミナル  
JR鹿児島駅  
鹿児島市電

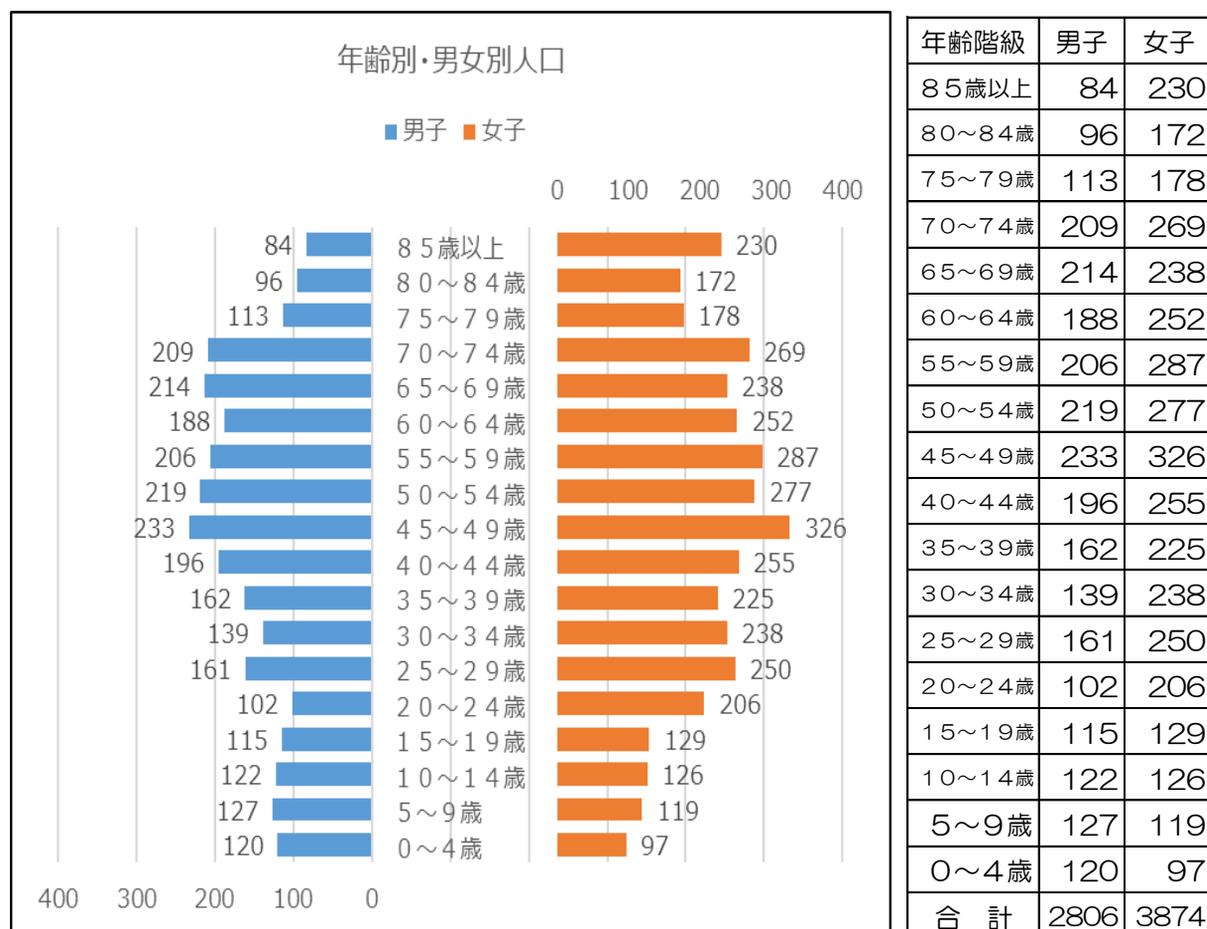
**報道機関**  
NHK鹿児島放送局

**公園・広場等**  
城山公園 中央公園 泉公園 みなと大通り公園 小川公園 鹿児島港芝生広場 歴史と文化の道 かんまちあ

# 1. 名山校区の概要

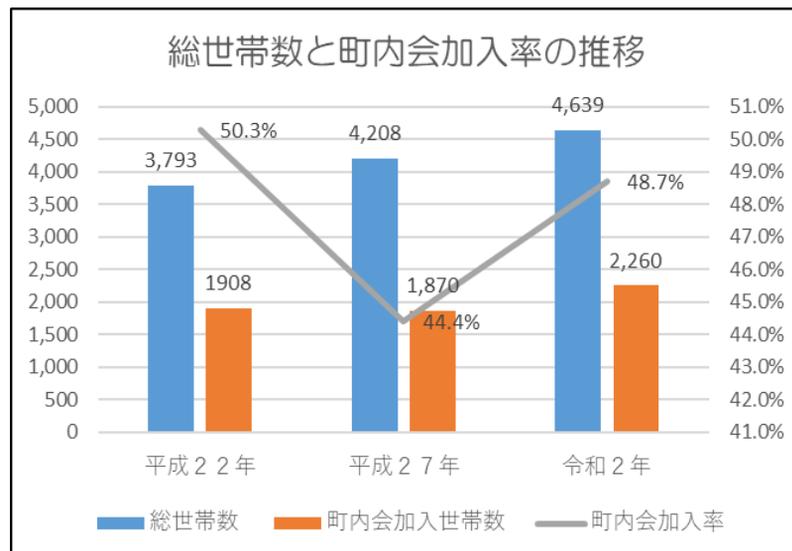
## (4) 名山校区の人口

### ①人口ピラミッド（5歳階級別）



資料：令和2年国勢調査

### ②総世帯数と町内会加入率の推移



|          | 平成22年 | 平成27年 | 令和2年  |
|----------|-------|-------|-------|
| 総世帯数     | 3,793 | 4,208 | 4,639 |
| 町内会加入世帯数 | 1,908 | 1,870 | 2,260 |
| 町内会加入率   | 50.3% | 44.4% | 48.7% |

鹿児島市全体：  
52.8%（令和2年）

資料：各年国勢調査

## 2. まちづくりの目標と運営方針

連帯感と活力に満ち溢れたまちづくりを進めるために、次のようなスローガン、7つの運営方針で取り組みます。

### スローガン

## 歴史を継ぎ、街なかに残る『つながり』を守り育てる 名山

### 方針 1

地域主体の  
まちづくり

#### ■住民みんなが主体的にまちづくりに取り組む

「名山は一つ」という合言葉のもと、住民みんなが協力・参加する地域主体のまちづくりを進めます。そのために、より多くの住民が、何らかの形で参画しやすい環境づくりを整えます。

### 方針 2

意見交換・  
対話の重視

#### ■広く意見を汲み取ったまちづくりを進める

次代を担う子どもたちや青年層、また高齢者などさまざまな年代との意見交換を行うなど、広く住民の願い（夢や希望）を大切にした活動や運営に努めます。

### 方針 3

積極的な  
情報発信

#### ■積極的な情報発信に努める

地域主体のまちづくりを図るため、協議会活動について広報紙の発行など情報発信に努めます。

### 方針 4

プランを  
基本

#### ■プランを基にしたまちづくりを進める

住民の声を反映して策定した校区のまちづくりの指針となる地域コミュニティプランを基に、地域課題の解決や地域資源の活用に取り組みます。

### 方針 5

地域開発への  
積極的関与

#### ■新たな地域開発などに積極的に関与する

行政や民間企業等が実施する地域開発など、地域住民への影響が強いと予想されるものに関しては、積極的な姿勢で取り組みます。

### 方針 6

校区公民館  
の活用

#### ■交流の場として校区公民館を活用する

校区公民館を住民や構成団体がふれあい交流する場、人づくりの場として活用し、新たな参加者の掘り起こしなどを通じて、住民同士の適度な「つながり」を維持します。

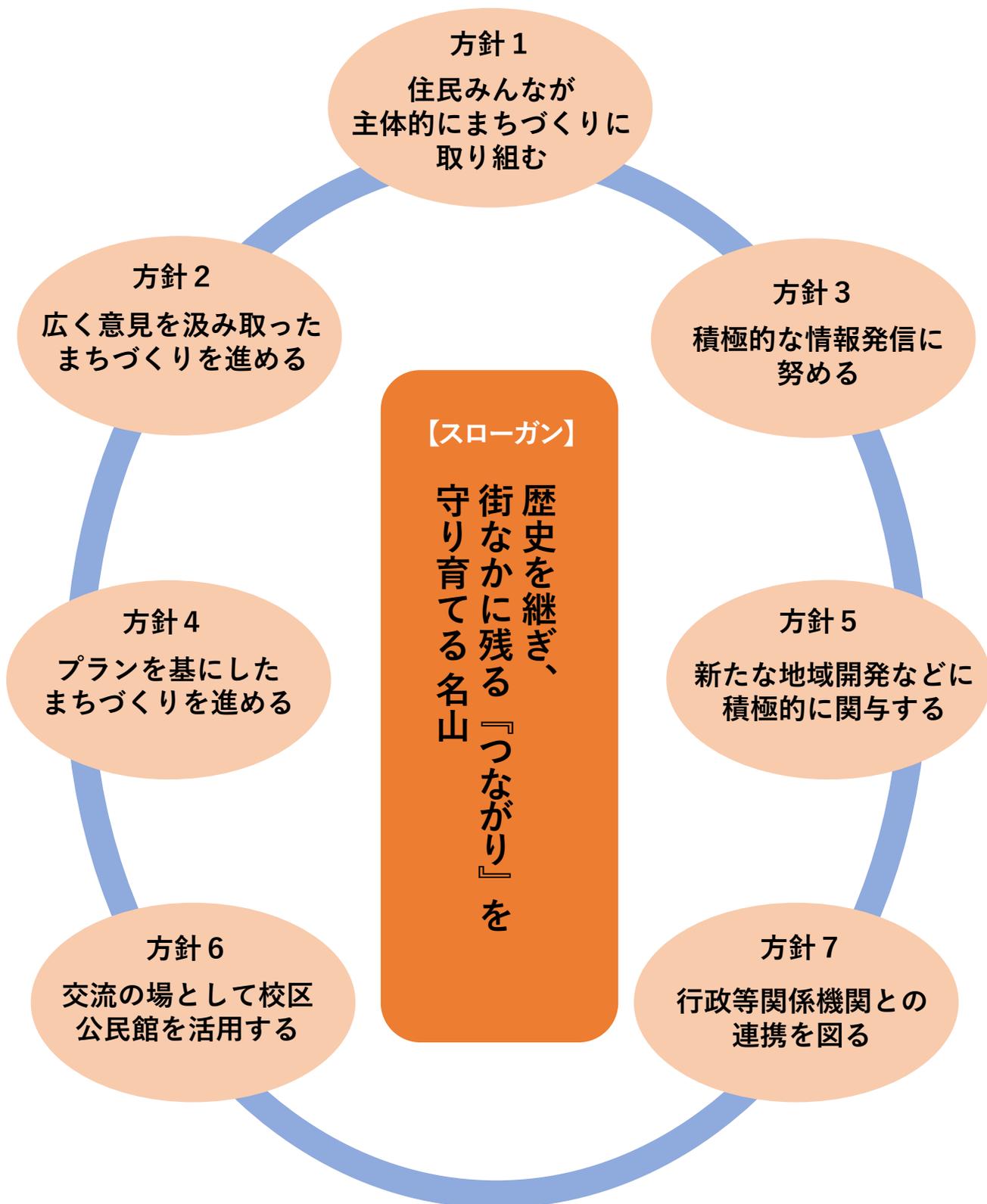
### 方針 7

行政等関係機  
関との連携

#### ■行政等関係機関との連携を図る

鹿児島市をはじめ関係行政機関等との連携のもとまちづくりを進めるとともに、地域課題について情報共有を図ります。

## 2. まちづくりの目標と運営方針



## (1) 基本的な考え方

第1期プランを推進する中での課題として、次のような点が指摘されました。

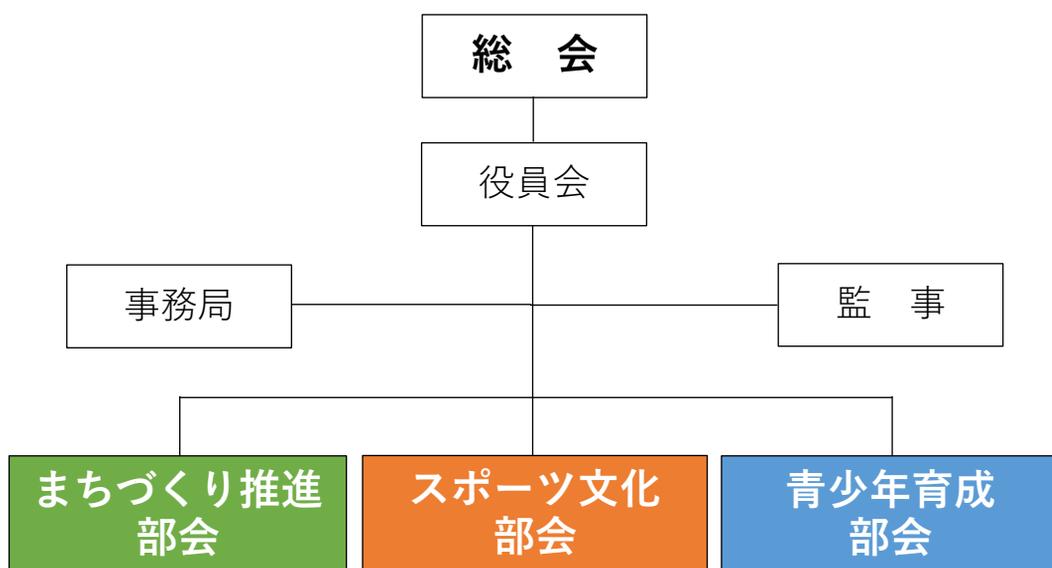
- 各部会の開催・運営がほとんどできなかった。理由としては、①部会長、副部会長以外は部会に入っているという意識が薄かったこと、②部会が5つあったため、地域を担う人材が分散してしまったこと、などがあげられる。
- 5部会への町内会の参画について、町内会長をまちづくり推進部会に位置付け、他の4部会への町内会担当はいなかったため、実施する事業ごとに町内会担当をお願いするなど、町内会と一体となった事業推進体制ではなかった。

以上のことを鑑み、これまでの5部会（まちづくり推進部会、福祉安全部会、文化部会、青少年育成部会、保健体育部会）を3部会に統合し、コミュニティ協議会と町内会が一体となった名山校区の地域づくりを行います。このことによって、部会の執行体制が整い、また町内会の参画も可能となり、円滑な事業推進体制を整えます。

## (2) 事業推進体制

コミュニティ協議会の事業推進体制は、以下の通りとします。

【コミュニティ協議会の事業推進体制】



### 【部会の構成員】

#### まちづくり推進部会

易居町町内会  
 名山町東町内会  
 名山町西町内会  
 城山町敬天区町内会  
 城山二之丸町内会  
 堀江町町内会  
 大黒町町内会  
 呉服町町内会  
 中町町内会  
 金生町町内会  
 住吉町町内会  
 泉町町内会  
 小川・浜町町内会  
 アーバンポート21町内会  
 名山町通り会  
 校区安心安全ネットワーク会議  
 消防分団  
 防犯パトロール隊  
 交通安全協会名山支部  
 地域安全モニター  
 湾岸交番  
 通学保護員  
 スクールゾーン委員会  
 名山地区民生委員児童委員協議会  
 校区社会福祉協議会

#### スポーツ文化部会

易居町町内会  
 名山町東町内会  
 名山町西町内会  
 城山町敬天区町内会  
 城山二之丸町内会  
 堀江町町内会  
 大黒町町内会  
 呉服町町内会  
 中町町内会  
 金生町町内会  
 住吉町町内会  
 泉町町内会  
 小川・浜町町内会  
 アーバンポート21町内会  
 スポーツ推進委員  
 健康推進委員  
 めいざんスポーツクラブ  
 朝日通り薬局  
 女性学級  
 成人学級  
 家庭教育学級  
 名山小・名山小PTA  
 長田中・長田中PTA  
 学校支援ボランティア  
 上町クローズライン

#### 青少年育成部会

易居町町内会  
 名山町東町内会  
 名山町西町内会  
 城山町敬天区町内会  
 城山二之丸町内会  
 堀江町町内会  
 大黒町町内会  
 呉服町町内会  
 中町町内会  
 金生町町内会  
 住吉町町内会  
 泉町町内会  
 小川・浜町町内会  
 アーバンポート21町内会  
 校区あいご会  
 校区社会福祉協議会  
 名山地区民生委員児童委員協議会  
 少年ボランティア連絡会  
 校区安心安全ネットワーク会議  
 青色防犯パトロール隊  
 湾岸項番  
 地域安全モニター  
 スポーツ少年団  
 名山小・名山小PTA  
 長田中・長田中PTA

## (3) コミュニティプラン策定委員会委員

### 【策定委員会】

| NO. | 氏名     | 備考                        |
|-----|--------|---------------------------|
| 1   | 平山 哲   | 名山校区コミュニティ協議会 会長          |
| 2   | 松崎 勉   | 名山校区コミュニティ協議会 副会長         |
| 3   | 宮田 研郎  | 名山校区コミュニティ協議会 副会長 (名山小校長) |
| 4   | 堀之内 繁  | まちづくり推進部 部会長 (第1期プラン期間)   |
| 5   | 有村 順一  | まちづくり推進部 副部会長 (第1期プラン期間)  |
| 6   | 笛 恵    | 文化部 部会長 (第1期プラン期間)        |
| 7   | 坂元 聖子  | 文化部 副部会長 (第1期プラン期間)       |
| 8   | 上野 洋一  | 保健体育部 部会長 (第1期プラン期間)      |
| 9   | 中村 清文  | 保健体育部 副部会長 (第1期プラン期間)     |
| 10  | 内田 雅之  | 青少年育成部 部会長 (第1期プラン期間)     |
| 11  | 萩原 功一郎 | 青少年育成部 副部会長 (第1期プラン期間)    |
| 12  | 末満 裕孝  | 福祉安全部 部会長 (第1期プラン期間)      |
| 13  | 原田 孝造  | 福祉安全部 副部会長 (第1期プラン期間)     |
| 14  | 白石 浩子  | 名山校区コミュニティ協議会 事務局         |
| 15  | 日高 有見  | 名山校区コミュニティ協議会 書記・会計       |
| 16  | 東 正和   | 名山校区コミュニティ協議会 監事          |
| 17  | 尾込 克信  | 名山校区コミュニティ協議会 監事          |
| 18  | 坂之上 繁行 | 城山町敬天区町内会 会長              |
| 19  | 宮之前 憲雄 | 堀江町町内会 会長                 |
| 20  | 日高 泰治  | 住吉町町内会 会長                 |

### 【準備委員会】

| NO. | 氏名    | 備考                   |
|-----|-------|----------------------|
| 1   | 堀之内 繁 | まちづくり推進部会 (第1期プラン期間) |
| 2   | 坂元 聖子 | 文化部会 (第1期プラン期間)      |
| 3   | 上野 洋一 | 保健体育部会 (第1期プラン期間)    |
| 4   | 松田 武泰 | 青少年育成部会 (第1期プラン期間)   |
| 5   | 末満 裕孝 | 福祉安全部会 (第1期プラン期間)    |
| 6   | 白石 浩子 | 名山校区コミュニティ協議会事務局     |

## (4) 会議の経過概要

| 年度・月日・曜日 |          | 会議名           | 協議内容             |
|----------|----------|---------------|------------------|
| 令和4年度    | 11月14日 月 | (役員会・まちづくり部会) | 第2期プラン策定スケジュール提案 |
|          | 11月14日 月 | 準備委員会発足       |                  |
|          | 12月7日 水  | 第1回準備委員会      | アンケート内容、実施方法検討   |
|          | 1月23日 月  | 第2回準備委員会      | アンケート内容検討        |
|          | 2月6日 月   | (役員会・まちづくり部会) | アンケート内容について検討    |
|          | 3月13日 月  | 第1回プラン策定委員会発足 | ～3月末までアンケート実施    |
| 令和5年度    | 随 時      |               | アンケート集計          |
|          | 4月12日 水  | 第3回準備委員会      | 考察とプラン内容検討       |
|          | 4月17日 月  | 第1回プラン策定委員会   | アンケート報告          |
|          | 6月21日 水  | 第4回準備委員会      | 考察とプラン内容検討       |
|          | 7月24日 月  | 第2回プラン策定委員会   | プラン案の提案・検討       |
|          |          |               | プラン素案作成          |
|          | 11月13日 月 | 第3回プラン策定委員会   | プラン案の提案・検討       |
|          | 1月29日 月  | 第4回プラン策定委員会   | プラン案の承認          |
|          | 3 月      |               | 印刷製本             |



# 4. 第Ⅱ期プランの活動内容

## (1) まちづくり推進部会

### 活動方針

- 住民の願いを的確に把握し、楽しんで活動に参加できるような環境をつくります。
- 住民の連帯意識に支えられた活気ある地域づくりのために、課題の発見・解決への取組を進めます。
- 校区住民が相互に支え合う地域福祉の増進に努めます。
- 安全の確保のための課題の把握と改善に努めます。

### 活動内容

- |              |  |            |
|--------------|--|------------|
| <b>(1)-1</b> | <b>広報紙の発行事業</b>  | 実施時期：年4回   |
| 事業内容         | 本協議会の活動状況や計画・運営等について、校区民に広報する。                                     |            |
| 事業効果         | 毎月の情報を発信でき、本協議会に対する住民の理解が深まることで、積極的な参加の増につなげる。                     |            |
| <b>(1)-2</b> | <b>校区美化活動事業</b>  | 実施時期：8月    |
| 事業内容         | 「クリーンシティかごしま」の日に合わせて、校区内の環境美化活動を行う。                                |            |
| 事業効果         | 美化活動を通して美しい環境づくりを推進するとともに、町内会活動の活性化が図られる。                          |            |
| <b>(1)-3</b> | <b>あいさつ運動</b>  | 実施時期：每学期始め |
| 事業内容         | 「あいさつ先手運動」を展開し、あいさつがあふれる地域づくりを進める。                                 |            |
| 事業効果         | 住民同士のあいさつで、地域でともに支え合うという「結い」の意識を高めることができる。                         |            |
| <b>(1)-4</b> | <b>生き生きまちづくり作戦</b>   | 実施時期：8月    |
| 事業内容         | あいさつ等の標語を募集したり、夏祭りにいろいろな形で参加したりして、住民のアイデア溢れる取組を進める。                |            |
| 事業効果         | 住民の心と心のふれあいを深め、明るい笑顔があふれるまちづくりに寄与する。                               |            |
| <b>(1)-5</b> | <b>ワークショップ等の開催</b> <span style="color: red;">新</span>              | 実施時期：随時    |
| 事業内容         | 鹿児島本港区など地域開発動向を注視し、地域の意見を吸い上げるための説明会やワークショップを開催するなど、主体的なまちづくりを進める。 |            |
| 事業効果         | 校区住民が、自身が居住する地域のまちづくりに主体的に関与する契機となる。                               |            |

# 4. 第Ⅱ期プランの活動内容

## (1) まちづくり推進部会

- (1)-6 ふれあい研修旅行事業** 実施時期：年1回
- 事業内容 地区社協が主催する「ふれあい研修旅行」に協力することで、校区内の高齢者を中心として郊外に出て見聞を広めたり、交流したりする一助とする。
- 事業効果 視察や観光をして見聞を広め、校区住民のつながりを深めたり、お互いを支え合う意識を育てたりすることができる。
- (1)-7 地域の安全点検活動** 実施時期：通年
- 事業内容 校区内の危険個所や暗がり箇所等の点検を行い、安心安全ネットワーク会議で集約するなど、安心安全なまちづくりを推進する。また、青色パトロール隊による防犯活動を推進する。さらに、アンケート調査等で要望の高い防犯カメラについて、その必要性や費用対効果などを含め検討を進める。
- 事業効果 安全点検の対策を講じることで、明るく住みよいまちづくりにつながる。
- (1)-8 地域の防災強化事業** 実施時期：随時
- 事業内容 校区運動会等の際の防災研修、台風・火災・地震・津波を見据えた防災情報の収集・整理、校区防災マップの作成を行うことで、地域の防災力を高める。
- 事業効果 災害の際の対応を具体的に理解できるなど、防災力の向上につながる。

## 活動スケジュール

| 事業番号・事業名          | 実施時期      | 事業スケジュール |     |     |     |     | 備考<br>(連携等) |
|-------------------|-----------|----------|-----|-----|-----|-----|-------------|
|                   |           | '24      | '25 | '26 | '27 | '28 |             |
| (1)-1 広報紙の発行事業    | 年4回       | ④        | ④   | ④   | ④   | ④   | 各部会連携       |
| (1)-2 校区美化活動事業    | 8月        | ○        | ○   | ○   | ○   | ○   | 町内会が主催      |
| (1)-3 あいさつ運動      | 毎学期<br>始め | ③        | ③   | ③   | ③   | ③   |             |
| (1)-4 生き生きまちづくり作戦 | 8月        | ○        | ○   | ○   | ○   | ○   |             |
| (1)-5 ワークショップ等の開催 | 随時        | ○        | ○   | ○   | ○   | ○   |             |
| (1)-6 ふれあい研修旅行    | 年1回       | ○        | ○   | ○   | ○   | ○   | 地区社協が主催     |
| (1)-7 地域の安全点検活動   | 通年        | ○        | ○   | ○   | ○   | ○   |             |
| (1)-8 地域の防災強化事業   | 随時        | ○        | ○   | ○   | ○   | ○   |             |

# 4. 第Ⅱ期プランの活動内容

## (2) スポーツ文化部会

### 活動方針

- 校区住民の心身の健康増進のための環境を整えるとともに、体育的行事を通して親睦を深めることで、連帯感と活力ある人・まちづくりを進めます。
- 校区住民がともに学び合う機会や場を提供します。
- 学んだ成果を地域に還元する手立てや機会をつくります。

### 活動内容

- |              |   |          |
|--------------|---|----------|
| <b>(2)-1</b> | <b>校区運動会の開催</b>   | 実施時期：10月 |
| 事業内容         | 恒例の校区住民総参加の伝統的な行事である運動会を開催し、住民の交流や連帯意識が深まる機会とする。                                      |          |
| 事業効果         | 運動会の開催で、住民のふれあいの機会が増し、絆の深まりや心の結集が図られ、地域の一体感と活性化が促進される。                                |          |
|              |   |          |
| <b>(2)-2</b> | <b>校区スポーツ大会の開催</b>  | 実施時期：11月 |
| 事業内容         | 大会を通じて、ニュースポーツの普及を図るとともに、住民の交流や連帯意識が深まる機会とする。   |          |
| 事業効果         | 大会の開催で、住民のふれあいの機会が増し、絆の深まりや心の結集が図られ、地域の一体感と活性化が促進される。                                 |          |
|              |   |          |
| <b>(2)-3</b> | <b>ふれあいグラウンドゴルフ大会の開催</b>  | 実施時期：2月  |
| 事業内容         | 子どもと大人がグラウンドゴルフのゲームを通して、世代間交流を図る。   |          |
| 事業効果         | 子どもと大人がグラウンドゴルフを楽しむとともに、世代を超えた交流を楽しみ、まちづくりの活性化が図られる。子どもと大人がグラウンドゴルフのゲームを通して、世代間交流を図る。 |          |
|              |   |          |
| <b>(2)-4</b> | <b>いきいき健康活動への支援</b>   | 実施時期：年2回 |
| 事業内容         | 町内会等で実施している健康をテーマとした取組を支援するとともに、コミュニティ協議会や町内会などで開催する各種イベントの機会を活用して、住民の健康への意識向上を図る。    |          |
| 事業効果         | 住民の健康への意識や関心が増し、体力・健康増進が図られる。   |          |

# 4. 第Ⅱ期プランの活動内容

## (2) スポーツ文化部会

### (2)-5 社会学級の開講

実施時期：年10回

事業内容 成人学級、女性学級を開講し、住民が校区公民館等に集い、教養の向上を図り、成果を家庭やまちづくりに役立てる。また、社会学級や自主学習グループ、学校等の学習活動の成果を発表する。

事業効果 日常的な課題について学び合うことや学習成果等を発表したりすることで、まちづくりや家庭生活に役立つ力が向上し、活気ある地域づくりに貢献できる。

### (2)-6 家庭教育学級への支援

実施時期：年8回

事業内容 小・中学生を持つ保護者が、子育てや社会生活の仕方等について学び、家庭生活やまちづくりに役立てる。

事業効果 保護者が子育ての悩み等について話し合ったり、生活全般のことについて学んだりすることで、子育てへの不安を減らすことができる。

### (2)-7 名山を学ぶ機会の創出

実施時期：年1回

事業内容 校区の歴史と文化等について学ぶ会を開催し、未来のふるさとづくりについて語り合う。（講演会やまち歩き）

事業効果 ふるさと名山のすばらしさを知ることによって地域への愛着を醸成するとともに、貴重な文化財等の保存・継承につながる。

## 活動スケジュール

| 事業番号・事業名             | 実施時期 | 事業スケジュール |     |     |     |     | 備考<br>(連携等)     |
|----------------------|------|----------|-----|-----|-----|-----|-----------------|
|                      |      | '24      | '25 | '26 | '27 | '28 |                 |
| (2)-1 校区運動会の開催       | 10月  | ○        | ○   | ○   | ○   | ○   | 実行委員会           |
| (2)-2 校区スポーツ大会の開催    | 11月  | ○        | ○   | ○   | ○   | ○   | スポーツ推進委員との連携    |
| (2)-3 ふれあいグラウンドゴルフ大会 | 2月   | ○        | ○   | ○   | ○   | ○   | あいご会との連携        |
| (2)-4 いきいき健康活動への支援   | 年2回  | ②        | ②   | ②   | ②   | ②   | めいざんスポーツクラブとの連携 |
| (2)-5 社会学級の開講        | 年10回 | ⑩        | ⑩   | ⑩   | ⑩   | ⑩   |                 |
| (2)-6 家庭教育学級への支援     | 年8回  | ⑧        | ⑧   | ⑧   | ⑧   | ⑧   | PTAとの連携         |
| (2)-7 名山を学ぶ会         | 年1回  | ○        | ○   | ○   | ○   | ○   |                 |

# 4. 第Ⅱ期プランの活動内容

## (3) 青少年育成部会

### 活動方針

- 地域の子どもは地域で育てるという地域の教育力を一層高めます。
- ふるさと「名山」という意識と誇りを持てる活動を進めます。

### 活動内容

- |              |  |           |
|--------------|--|-----------|
| <b>(3)-1</b> | <b>立志のつどい</b>  | 実施時期：2月   |
| 事業内容         | 中学2年生の立志を地域全体で祝福するとともに、生徒たちの、行動に伴う責任のあり方等を考え実行する機会にする。                         |           |
| 事業効果         | 地域住民が子どもたちの健やかな成長を願っていることを意識させ、地域に対する愛着を育むことができる。                              |           |
| <b>(3)-2</b> | <b>あいご行事への支援</b>   | 実施時期：通年   |
| 事業内容         | あいご行事やおぎおんさあ、セゴどんのエンコへの参加などの支援を行う。   |           |
| 事業効果         | あいご会活動を充実させることによって、地域ぐるみでの青少年育成に役立つ。   |           |
| <b>(3)-3</b> | <b>日曜城山登山の開催</b>   | 実施時期：毎月1回 |
| 事業内容         | 体力づくりや異年齢交流を目的として城山登山を行い、心身の健全育成を推進する。   |           |
| 事業効果         | 心身の健康づくりに役立つとともに、参加者の交流を地域の活性化に生かす。  |           |
| <b>(3)-4</b> | <b>「こども110番の家」の充実 <span style="color: red;">新</span></b>                       | 実施時期：年1回  |
| 事業内容         | 子どもたちが危険にさらされたときの緊急避難場所として、こども110番の家の登録を促すとともに、毎年巡回することで、確認・更新を行う。             |           |
| 事業効果         | 地域全体で子どもたちを守っていくという機運が高まるとともに、不審者に対する抑止力向上が図られる。また、活動を通じて、地域と保護者、関係者などの連携が深まる。 |           |

# 4. 第Ⅱ期プランの活動内容

## (3) 青少年育成部会

### 活動スケジュール

| 事業番号・事業名             | 実施時期     | 事業スケジュール |     |     |     |     | 備考<br>(連携等) |
|----------------------|----------|----------|-----|-----|-----|-----|-------------|
|                      |          | '24      | '25 | '26 | '27 | '28 |             |
| (3)-1 立志のつどい         | 2月       | ○        | ○   | ○   | ○   | ○   |             |
| (3)-2 あいご行事への支援      | 通年       | ○        | ○   | ○   | ○   | ○   |             |
| (3)-3 日曜城山登山の開催      | 毎月<br>1回 | ⑫        | ⑫   | ⑫   | ⑫   | ⑫   | あいご会との連携    |
| (3)-4 「こども110番の家」の充実 | 年1回      | ○        | ○   | ○   | ○   | ○   |             |

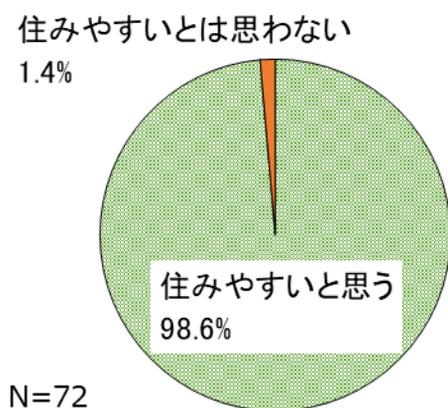


## ■回答者の属性

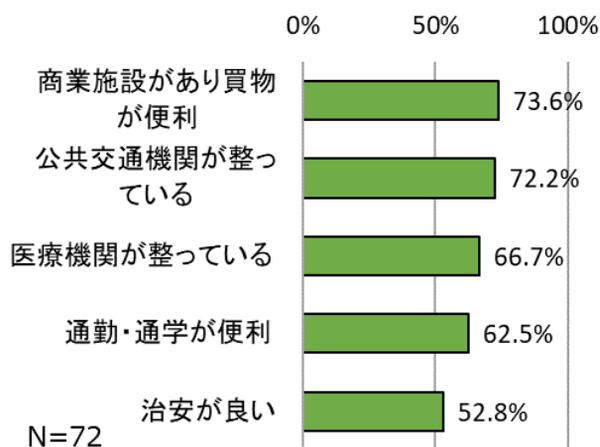
- ・性別：男性44.4%（32人）、女性54.2%（39人）、無回答1.4%（1人）
- ・年齢：30代6.9%（5人）、40代13.9%（10人）、50代13.9%（10人）、60代20.8%（15人）、70代36.1%（26人）、80代以上8.3%（6人）
- ・居住年数：5年未満6.9%（5人）、5～9年9.3%（6人）、10～19年12.5%（9人）、20～29年12.5%（9人）、30年以上58.3%（42人）、無回答1.4%（1人）

## (1) 名山校区全体について

### ■名山校区の住みやすさ (SA)

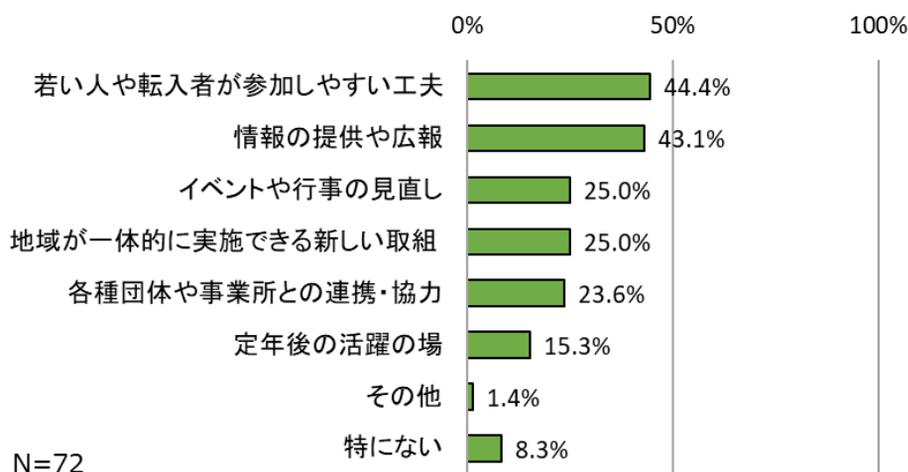


### ■住みやすいと思う理由 (MA) ※上位5位

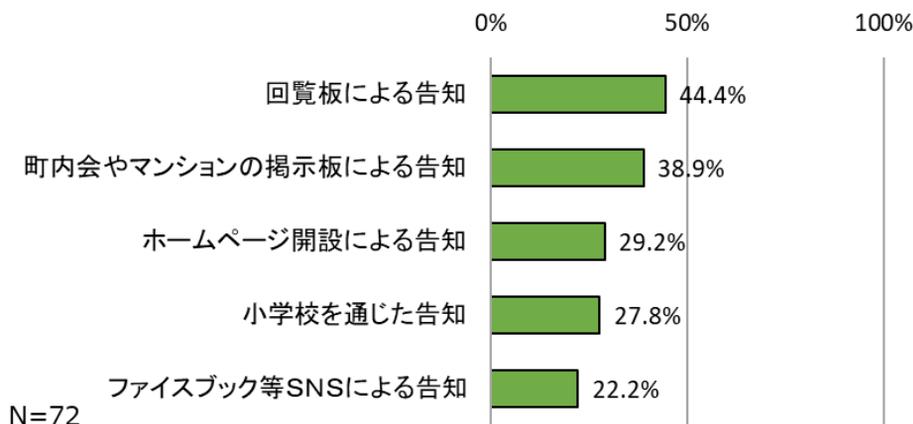


## (2) まちづくり推進に関して

### ■校区や町内会の活性化に必要なこと (MA)



## ■コミュニティ活動の効果的な広報方法 (MA)

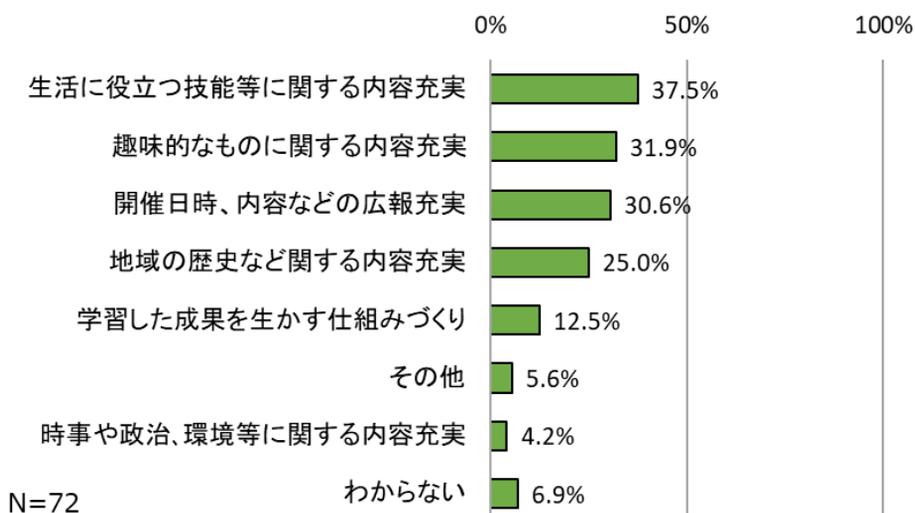


## (3) 文化に関して

### ■校区文化祭の開催のあり方に関する考え方 (MA)

|                      |       |
|----------------------|-------|
| ①単独ではなく、他の行事と同時開催    | 34.7% |
| ②校区のお祭りと同様開催にする      | 18.1% |
| ③校区文化祭を単独でも開催        | 6.9%  |
| ④住民の日頃の学習成果を発表する場にする | 5.6%  |
| ⑤舞台発表ではなく、展示発表のみにする  | 1.4%  |

### ■社会学級 (成人学級・女性学級) の参加を増やすための方策 (MA)

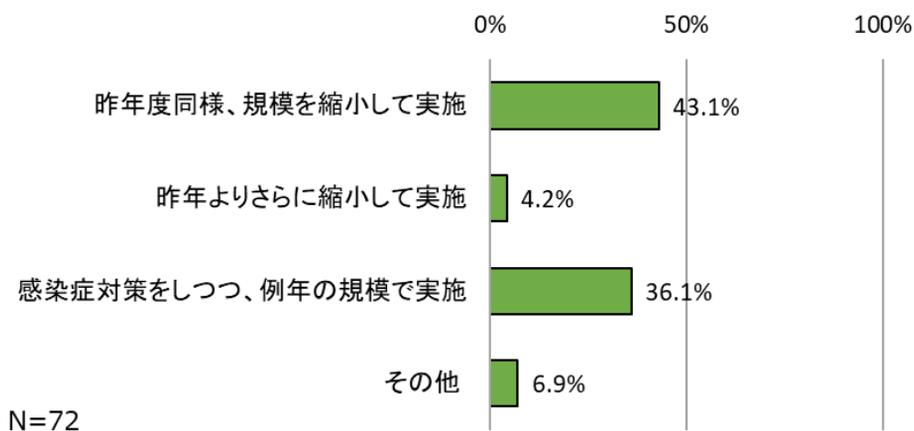


## (4) 保健体育に関して

### ■校区球技大会のあり方に関する考え方 (MA)

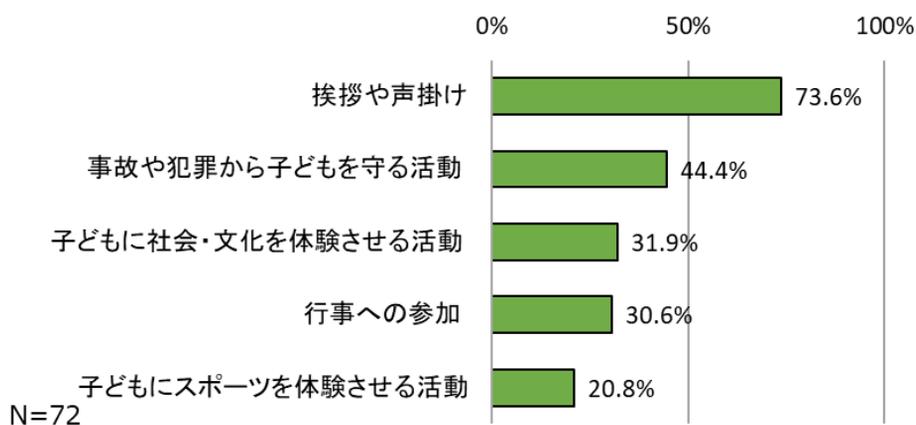
|                   |       |
|-------------------|-------|
| ①ニュースポーツを続ける      | 22.2% |
| ②多くの種目を体験できるようにする | 20.8% |
| ③ソフトボール、ソフトバレーに戻す | 5.6%  |
| ④その他の種目にする        | 2.8%  |
| ⑤その他              | 2.8%  |
| ⑥わからない            | 30.6% |
| ⑦無回答              | 15.3% |

### ■校区運動会の在り方に関する考え方 (MA)

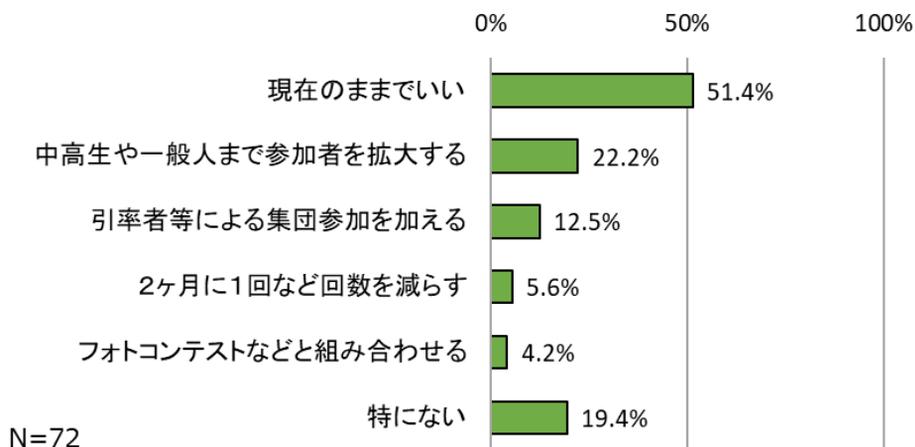


## (5) 青少年育成に関して

### ■子どもたちの健全育成のために協力したいこと (MA) ※上位5位

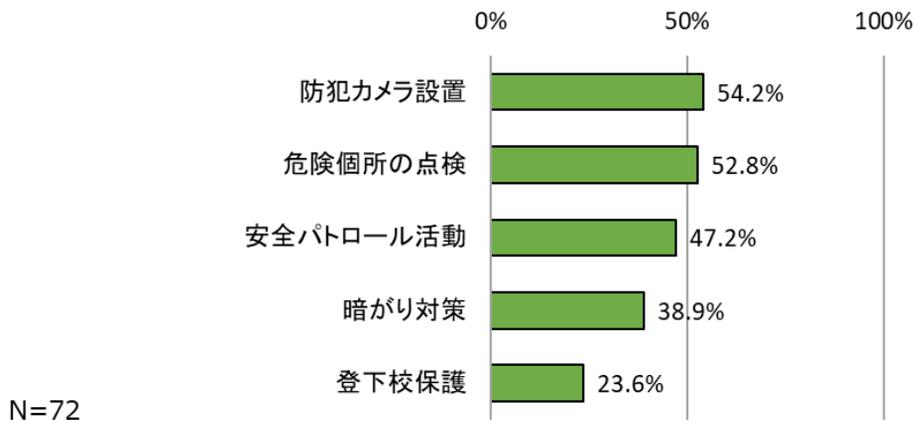


## ■日曜城山登山の今後の取組のあり方 (MA)

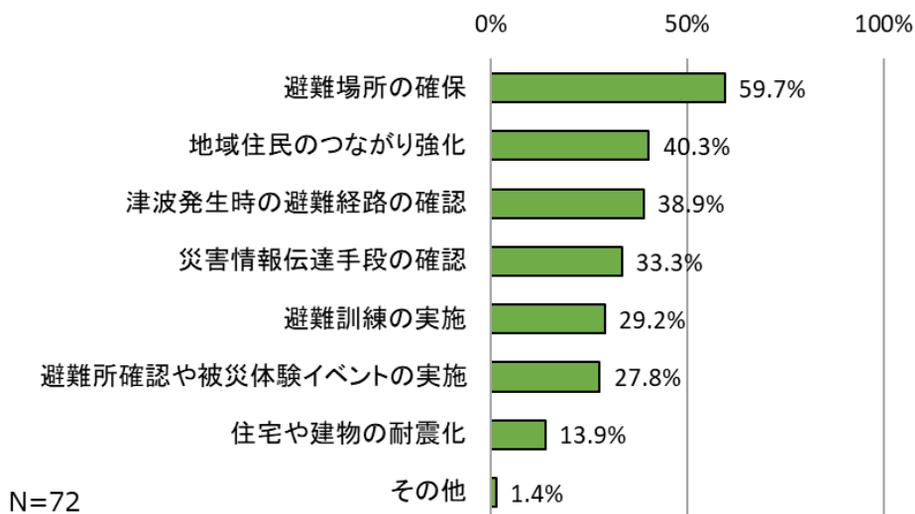


## (6) 福祉安全に関して

### ■校区で取り組んでほしい安心安全活動 (MA) ※上位5位



### ■災害から命を守るために校区で必要なこと (MA)





**名山校区コミュニティプラン 第2期  
(第2期校区振興計画)**

令和6年3月発行

**名山校区コミュニティ協議会**